

## ～地域包括ケア病棟から地域をデザインする～

発行元：地域包括ケア病棟“彩り”・リハビリ科・地域医療連携室

## 夏期休暇中も受け入れします。

## ～ お気軽にお問い合わせ下さい ～

平素は当院地域包括ケア病棟“彩り”に患者様をご紹介頂き、ありがとうございます。このゴールデンウィーク期間中は、4名の患者様を受け入れさせて頂きました。

\*

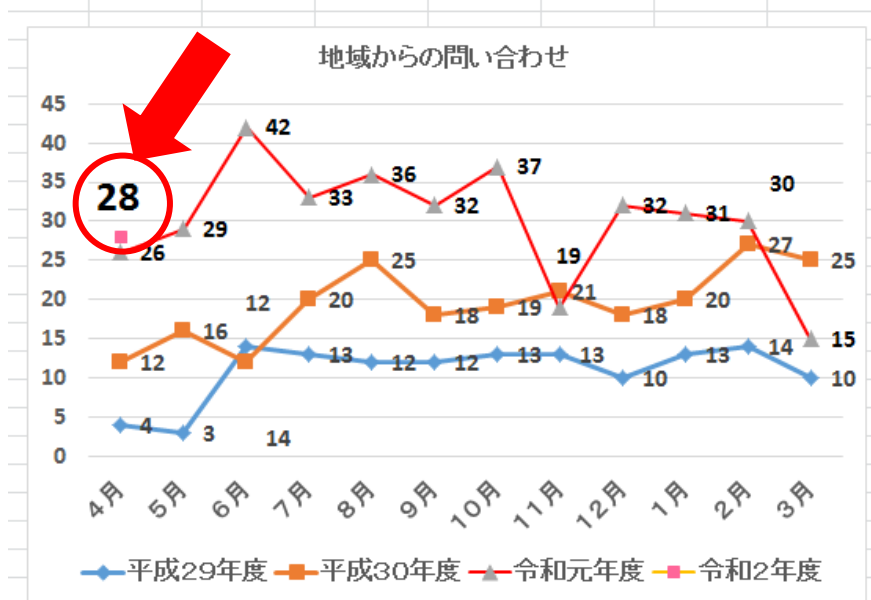


例年のこととなりますが、夏期休暇の期間中も、地域包括ケア病棟“彩り”では患者様の受け入れを行っています。夏期休暇のため一時的に在宅医療が途切れる場合やご家族の介護負担の軽減が必要な場合、様々な事情で介護施設のショートステイの利用が困難な場合などにご利用ください。お気軽にお問い合わせください。

## 4月の問い合わせの状況について

## ～ 令和2年度もよろしく申し上げます ～

地域の皆様からの令和2年4月の問い合わせの件数は、28件となっています。今年度も引き続き、地域の皆様のお役に立てるよう速やかに対応して参りますので、お気軽にお問い合わせください。



## 問い合わせ先

～ スムーズに受け入れさせて頂けるよう努めています ～

0774-73-1818（担当：中野・中嶋・松田）

## 老健やましろより

### ～ 傍で支える脇役になれるように ～



4月1日より、老健やましろの支援相談員として勤務しております、南山 亜紀と申します。前職は高齢者の相談窓口である地域包括支援センターで働いており、介護保険制度にかかわる相談から、人との関わりが苦手な高齢者の方への支援などをおこなっていました。

私が福祉の道を選んだきっかけは、高校生の時に特別養護老人ホームのボランティアに行った時の経験からでした。その日は初めてのボランティア活動ということもあり、緊張していた私に職員の方が優しく声をかけて下さいました。「人生を一冊の本にたとえてごらん。お一人お一人生きてきた生活史や考え方が異なるから、本の分厚さもストーリーも異なる。ここにおられる方は物語のクライマックスにさしかかっているのじゃないかな。その本の一番大事なところに、自分の関わり方次第で、ほんの少し脇役として登場させてもらえるかもしれない。そう考えると福祉は素敵な仕事だと思わないかい。」10年以上が経った今でも、この職員さんの言葉が私の胸の中にとどまり続けています。一人でも多くの方に住み慣れた地域へ安心して帰っていただき、在宅復帰を目指す方を傍で支える脇役になれるように頑張りたいと思います。(老健やましろ 支援相談員 南山 亜紀)

## リハビリ科より

### ～ 雲外蒼天 ～

この4月からリハビリテーション科課長に就任しました、田井博司と申します。岡村孝文前課長の功績が大きいと、至らない点も多々あるかと思いますが、皆様のご指導・ご協力、そしてご支援を頂きながら、職を務めていきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

\*

「うんがいそうてん雲外蒼天」という、困難を乗り越え、努力して克服すれば快い青空が望める、絶望してはいけないという激励を意味する四字熟語があります。新型コロナウイルスにより、普段の生活ができず、不安・心配事が日常に溢れている状況ですが、皆さんと共にこの困難を乗り越え、以前の生活を1日でも早く取り戻せることを願っています。(リハビリテーション科 課長 田井 博司)

## 地域医療連携室より

### ～ 感染拡大防止のために ～



実家の近所の信楽焼きタヌキも、マスクを着用していました。

当院では、4月20日(月)より、外来患者さんや付き添いのご家族など、院内に入られるすべての方々に非接触体温計で、検温をさせて頂いています。ご協力をお願いします。3密空間(密集・密着・密接)を避け、マスク着用・手指消毒など、各々が引き続きできることをしていきましょう。

(地域医療連携室 室長 南出 弦)